

直前一橋大 国語総合演習

【1 回目】



【問題】

【一】 出典…山村修『遅読のすすめ』／オリジナル問題

文章略解

日常の営みでは、営みごとに身についている生体的リズムがあり、それによって自分の日常を律している。しかし読書においては、身体の器官的な歯止めがないため、適したリズムをつかみにくく自己を律しにくい。その時に目安となるのは、目で文字を追っていったとき、それにとないながら、その情景が正しくあらわれてくるかどうかである。しかも適切な読書リズムは、読み手の理解のリズムだけでなく身体的なリズムとも呼応し、それらを調整してくれるはずである。

解答

問1 A ≡ 撮

B ≡ 循環

C ≡ 箸

D ≡ 偶然

E ≡ 任地

F ≡ 掃

G ≡ 奔放

H ≡ 注釈

I ≡ 叙情

J ≡ 効能

問2 歩行や食事と違い、読書の速さには身体による歯止めがないから。〔30字・解答例〕

問3 読み手の心身のリズムと読む速度が調和し、いくつもの酒壺に一つずつ浮かんだひしゃくが、ゆっくりとそろって同方向に動くさまがイメージできる状態。〔70字・解答例〕

問4

a ≡ まるで、あたかも、ちょうど。

b ≡ 一定の規準によって判断し、処置している。

c ≡ 物語、はなし。

d ≡ 雰囲気や気分などを自然に作り出す。

問1 漢字の書き取りは、例年基礎的なレベルであり、文脈に沿って、字の音・訓を確かめながら書いていきたい。A Ⅱ「シーンを撮影」、D Ⅱ「そう思ううち、たまたま(偶)出合った」、E Ⅱ「(赴)任した(土)地である上総」、F Ⅱ「御前の庭を掃除しながら」、J Ⅱ「そのような効(果)」など、意味を考えながら漢字を思い浮かべるようにするとよい。これは漢字の書き取り練習などをこなすより、普段から、国語辞典や漢和辞典をこまめに引く習慣が大切であることを思い知らせてくれる。ほとんどが日常的に使用されている漢字で「辞書を引く↓正確に書く」の反復がものをいうのである。

問2 読書のリズムは、人間の生体的リズムとどう関係しているのだろうか。筆者によれば「歩行」や「食事」などについては「個人差があるとはいえ、おおよその生体的リズムというものはある」(21行目)という。たしかに、普段の生活風景を思い浮かべてみればその通りであろう。ところが、「本の一ページを一秒から三秒、三百ページの本を五分から十五分で読んでしまう読みかた」(12行目)となると、その速さは常人の数十倍から百倍以上である。これは、「日常の立居ふるまい」の中で身体が何らかのブレーキとなっている「歩行」や「食事」とは明らかに違う性質のものと考えざるをえない。しかし、筆者は「本の読み方のリズム」を「日常の立居ふるまい」の一つと考えている(傍線一)ので、その前提で説明しなくてはならない。ヒントになりそうなのは、本文25～26行目にかけての記述である。これを用いてまとめれば理由説明になる。

問3 筆者の考える正しいリズムで読み、かつ、イメージが浮かんでいる状態を説明する問題。設問文には「本文中の例を用いて」とあるので、「ひしゃくが酒壺の上を動く」例を用いる。筆者にとって、読書の理想的な速度とは「読むリズムが、読み手の心身のリズムと幸福に呼应しあっている」(64行目)状態のことであろうから、その部分を中心に解答の核を作ると「読み手の心身リズムと読む速度の調和」次に、『更級日記』の該当箇所を正確に再現する。まず、とらえるべき対象「ひしゃく」の描写である。「たくさんの酒壺に浮かんだ」(57行目)「いくつもの」(58行目)「ひしゃく」でなければならぬ。次にその動きだが、「ゆっくり」(57行目)「いっせいに」(58行目)「同方向に」(58行目)としてはじめて正確になる。これらの描写の正確さも解答の出来の良し悪しとなるため、解答者はちゃんとイメージしながら解いていかななくてはならない。以上、二つの要素を組み合わせ「状態」を説明した。

問4 語句の説明問題は一橋大学らしい出題といえようか。普段何げなく読み取っているつもり言葉でも、あらためて説明しようとすると難しいことがある。国語辞典をこまめに引くようにすること、語義説明を書いて学習することなど、日常の学習方法に工夫と改良を加えておきたい。a「さながら」は、「そのまま」の意から「全部」「ことごとく」の意味が派生。さらに比況の語「ようだ」を伴った「まるで」「ちょうど」の意味、用法が生じた。b「律している」は、「規律」の「律」と同じ字であるところから説明文にする。サ変動詞を含む表現なので「判断」「処理」といったところまで説明する。c「譚」は、文脈から推測しやすい語ではある。漢字の「言偏」もヒントになる。d「かもされる」は、「醸す」(発酵させて酒などを作る)から派生した用法。この場面にはしつくりとなじむ表現である。

【配点の目安】 65点 問1 各2点×10＝20点 問2 12点 問3 21点 問4 各3点×4＝12点

問2

〈ア歩行や食事と違い、イ読書の速さにはウ身体による歯止めがないから。〉…12点

※ア4点、イ3点、ウ5点

*アは、生体的リズムがあいまいでない「日常の立居ふるまい」を具体的に示し、イがそれとは異なることを示せば可

*イは、「読みかたのリズム」についての説明であることを明示すれば可

*ウは、イには身体の器官的な制約が働かないことを説明すれば可

問3

I 〈ア読み手の心身のリズムとイ読む速度が(ア)調和し、〉…8点

※ア5点、イ3点

*Iでは、読むリズムが理想的である状態について説明する。

*アは、イが心身のリズムと呼応・調和する状態を説明すれば可

*イは、「読む速さ」についての説明であることを明示すれば可

Ⅱ 〈ウいくつもの酒壺に一つずつ浮かんだエひしゃくが、オゆつくりとそろって同方向に動くさまがカイメージできる状態。〉
…13点

※ウ4点、エ2点、オ4点、カ3点

*Ⅱでは、読むリズムが理想的である場合、『更級日記』の文章がどのようにイメージされるのかを具体的に説明する。

*ウは、たくさんの酒壺に浮かぶいくつものひしゃくがイメージされていることを示せば可

*オは、ウのひしゃくが、ゆつくりといっせいに同じように動くところがイメージされていることを示せば可

*カは、読むリズムが理想的である場合、ウ、エ、オの状態がイメージされることを示せば可

文章略解

解答に同じ。

解答

近代文明の誘発した顕著な害毒は、感受性の頹廃である。それは露骨化の傾向として現象し、すべてを表現しつくさせる近代文明の強迫観念に駆られて、人々は隠れた行為や表現の美しさ微妙さに対する繊細な感覚を失った。この傾向は、己の言行に逐一註釈を加える自己弁解の傾向を生み、当今の粗雑な主義主張や価値判断の氾濫をも引き起こしている。この感受性の頹廃は、表現に節度を持たない映画と写真の進歩によって助長されている。〔200字・解答例〕

解説

要約の問題に際してまず大切なことは、文章全体を貫く中心的なテーマを精確にとらえることだ。この問題文においては、冒頭の「近代文明が人間にもたらした害毒の中でも、とくに顕著なのは感受性の頹敗であらう」の一文にそれが集約的に現れている。まずはこうした一文の形で全体のテーマをとらえ、その文を解答の冒頭か末尾に置くように構想する。これが解答の軸にもなる。

残る字数で、この「軸になる一文」を肉付けしていくことになるわけだが、その際には、以下のような内容を問題文の記述に即して補っていくことを考えよう。

- ① 「軸になる一文」の内容の具体的な説明
- ② 「軸になる一文」の内容が生じる原因・根拠
- ③ 「軸になる一文」の内容が与える影響

ここでは、「感受性の頹敗」とは「沈黙の喪失」（1～2行目）・「露骨化の傾向」（5～6行目）と言い換えられている。さらには、「隠れてひそかに為される行と表現の美しさ……を無残に蹂躪する暴力」（6～7行目）と説明されている。これが前述の①に相当する。

②について述べた記述は問題文中には少ない。「所謂合理主義の影響からくる……」（8行目）の部分を使ってもよいが、この設問に

際しては特に不可欠な要素というわけではなからう。

③については、問題文の後半に縷々述べられているところを手際よくピックアップしていくことだ。「露骨化の傾向は、また自己弁解を生む」(23行目)・「蕪雑なイデオロギーのみが氾濫し、之によつて価値が決定されがちなものも右の事情に由る」(28～29行目)などの内容を踏まえればよい。これに、その後述べられている「映画と写真術の進歩」が「更に拍車をかける」(30行目)ということを追加すれば、おおむね制限字数にならう。

なお、古めかしい言い回しや、難解な語句などは、適宜同じ意味の別の語に置き換えることを心がけるとよい。受験生がその表現の意味するところを「理解している」ということが採点者に示せることにもなるからだ。また、問題文中に述べられている具体例を解答に取り入れるのは、あくまでも「字数の調整用」と考えられたい。最初から具体例を解答文中に取り入れることを考えていると、どうしても肝心な内容を落としてしまうことにつながりがちである。

【配点の目安】 35点

I 〈近代文明の誘発したイ顕著な害毒は、ウ感受性の頹廢である。〉…8点

※ア2点、イ2点、ウ4点

*Iでは、問題文の中心テーマを端的に説明する。

*アは、ウが近代文明によつてもたらされたものであることを示せば可

*イは、ウが近代文明によつてもたらされた害毒の中でも特に顕著なものであることを示せば可

*ウは、近代文明が人間にもたらした〈感受性の頹廢〉に言及したものが可

II 〈それは工露骨化の傾向として現象し、オすべてを表現しつくさせる力近代文明の強迫観念に駆られて、人々はキ隠れた行為や表現の美しさ微妙さに対するク繊細な感覚を失った。〉…12点

※工3点、オ2点、カ2点、キ2点、ク3点

*IIでは、〈感受性の頹廢〉とはどういう状態を言うのかを具体的に説明する。

*エは、ウがどのような現象として認められるのかを示せば可

*オは、近代文明が物事を扱う時の饒舌さを説明すれば可

*カは、エが近代文明の思考観念に強く結びついた傾向であることを示せば可

*キは、本来繊細な感覚で扱われるべきものに言及したものが可

*クは、キに正しく対応する繊細さが失われたこと示せば可

Ⅲ〈この傾向は、ケ己の言行に逐一註釈を加えるコ自己弁解の傾向を生み、サ当今の粗雑な主義主張や価値判断の氾濫をも引き起こしている。〉…8点

※ケ2点、コ3点、サ3点

*Ⅲでは、〈感受性の頹廃〉が引き起こす悪影響を説明する。

*ケは、コの「自己弁解」の具体的説明に言及したものが可

*コは、〈感受性の頹廃〉が引き起こすものとして「自己弁解」に言及したものが可

*サは、〈感受性の頹廃〉が引き起こすものとして〈粗雑なイデオロギーの氾濫〉に言及したものが可

Ⅳ〈このシ感受性の頹廃は、ス表現に節度を持たないセ映画と写真の進歩によって(シ)助長されている。〉…7点

※シ2点、ス2点、セ3点

*Ⅳでは、映画と写真が〈感受性の頹廃〉を助長していることを説明する。

*シは、セが〈感受性の頹廃〉を助長することを示せば可

*スは、セが〈感受性の頹廃〉を助長する理由を説明したものが可

*セは、〈感受性の頹廃〉を助長するものとして「映画」と「写真」を挙げれば可



会員番号	
------	--

氏 名	
-----	--